

サンゴジュ

【 区画⑬(75), 区画⑬(77), 区画⑭(82) , 区画⑯(87) (88) (89) ,
区画⑰(92) (93) , 区画⑱(96) (98) (99) (102) 】

学名	<i>Viburnum odoratissimum</i> Ker Gawl. <i>var. awabuki</i> (K.Koudhi) Zabel	分類	レンブクソウ科ガマズミ属
分布	関東地方南部～沖縄	樹高	3～10m程度の常緑小高木

〈特徴等〉

名前の由来	・ 秋に実る赤い果実が由来。		
葉の特徴	① 常緑・落葉	② 広葉・針葉	
	③ 対生・互生	④ 単葉・複葉	⑤ 鋸歯縁・全縁
開花等	・ 夏に多数のやや薄紫色を帯びた白色の小花を開く。		
結実等	・ 初秋に、赤い果実をつける。		
その他	・ 葉や材に水分が多く含まれるので、火災の際に延焼を防ぐ効果が高く、昔から防火樹として民家のまわりに植えられることがある。		

〈写真〉

		
樹木 (6/12)	樹皮 (6/12)	葉の付き方 (6/12)
		
葉 (6/12)	花 (4/3)	果実 (実) (/)

〈参考文献〉 牧野富太郎 (2017) 『新分類 牧野日本植物図鑑』北隆館, p. 1215.
林 将之 (2018) 『葉で見わかる樹木 増補改訂版』小学館, p. 164.